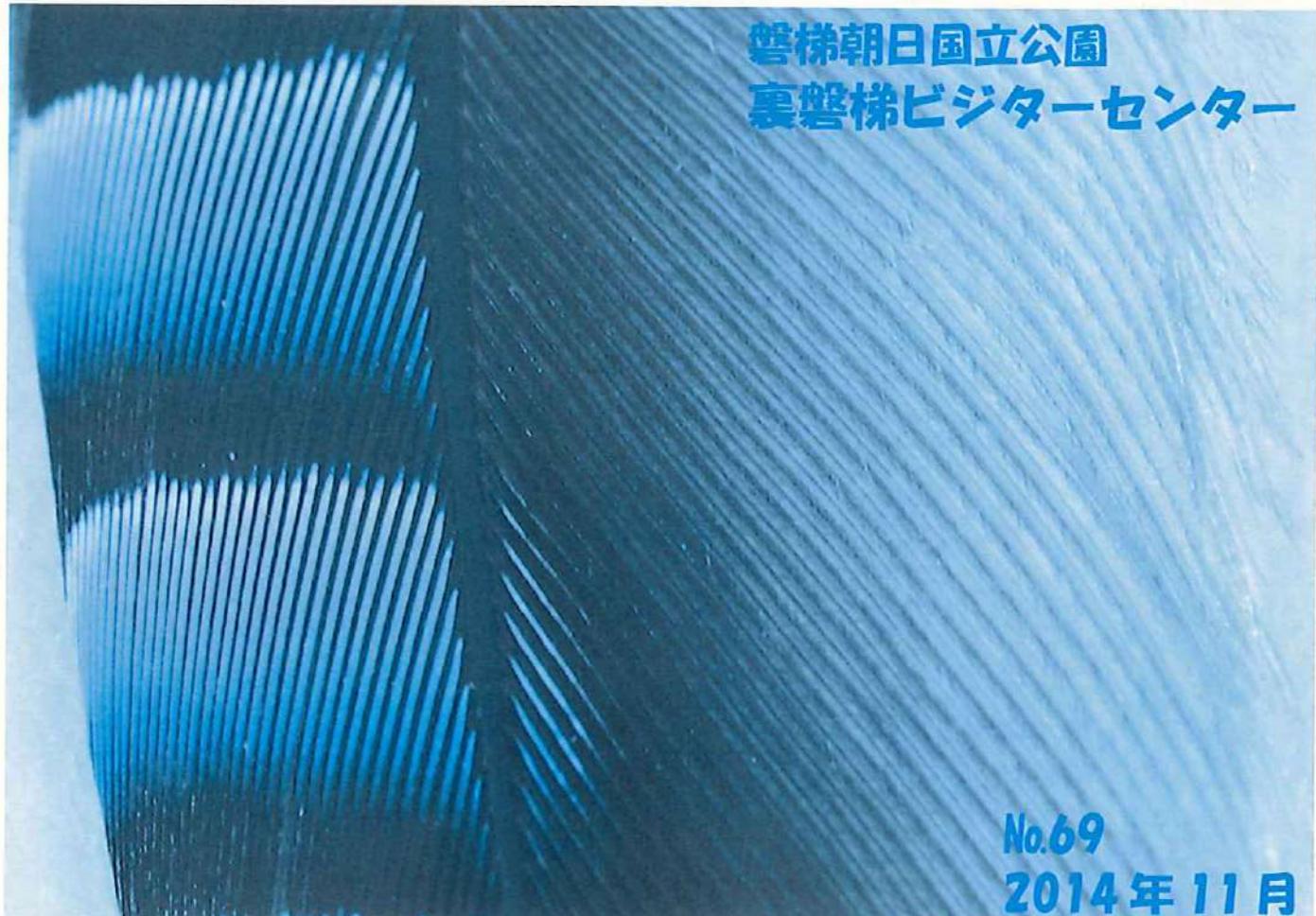


裏磐梯だよい



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.69
2014年11月

小さな世界 ④

軽くてふんわり、色も形も様々で美しい、思わず宝物にしたくなる落し物があります。

その作りは実に細かく巧妙です。軸の両側には繊細な縦の毛が密に伸び、その一本一本の両側には櫛の歯のように細かい毛があります。それが隣の毛の歯と絡まりあって、一枚のシートになっているのです。この写真の一本一本の毛は0.1mm以下と極細いのに、鮮やかな模様は片面だけで裏面はまっ黒！これはカケスの羽です。

鳥によって羽が様々なのはもちろん、1羽の鳥でも体の部分ごとに様々な羽を身にまとっています。その羽は、どんな鳥のどこの部分のどんな役割を果たすのでしょうか。空を舞う鳥、水面や水中を泳ぐ鳥、恋人さがしにおしゃれをした鳥…、その持ち主の姿を想像すると、宝物の価値がまた一つ増えるかもしれません。

（「カケスの風切羽」2014年11月14日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 2014年 裏磐梯の秋の様子と冬の予測 ■

秋が終わり、少しずつ冬を迎えていきます。ここで、「木の実」と「紅葉」に着目して秋を振り返るとともに、冬の予測をしてみました。

木の実は全国的に凶作だったようで、裏磐梯も例外ではありませんでした。ブナやウルシ、ヤマブドウなど様々な木の実が少なかったように思いました。

紅葉は標高が高い場所では例年より1週間ほど紅葉の進み具合が早かったものの、いつも通りに終わった印象です。ビジャーセンター周辺では10月25日前後が見頃で、11月に入ると落葉が進みました。しかし、今年は紅葉前から葉っぱが少なかったように感じました。春から夏にかけて大発生した「マイマイガ」の幼虫がブナ科（ブナなど）やバラ科（ナナカマドなど）、カバノキ科（ハンノキなど）といった樹木の葉を食べたからかもしれません。



紅葉が終わり、裏磐梯は冬を迎えます。例年、ビジャーセンター周辺では1m以上積雪があり、多い時には2m以上の積雪が観測されます。気象庁のデータで今年と昨年の4～10月の降水量を比較すると、今年は200mm以上少なかったことが分かりました。1年間の合計降水量は大きく変わらないので、今年は雪が多くなるかもしれません。

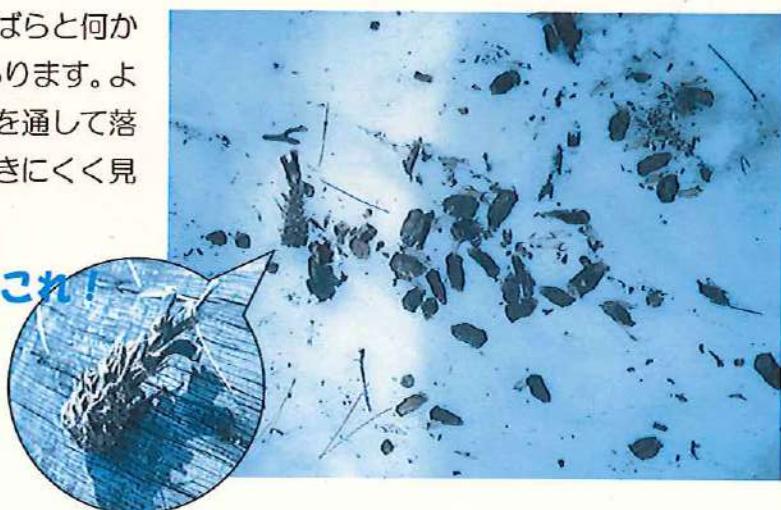
これから本格的に冬を迎えます。今年はどんな冬になるのか楽しみですね。

■ こんなのが見なかつた？ ■ 裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

雪の積もった探勝路を歩いていると、ぱらぱらと何かを散らかしたようなあとを見かけることがあります。よく見ると変な形のものも落ちています。1年を通して落ちているのですが、雪のない季節には目につきにくく見落としてしまいます。

さて、これは何でしょう？

- ①野鳥たちの食事のあと
- ②ネズミが巣を作るために集めたあと
- ③人が落としていった弁当のエビフライ
- ④ニホンリスの食事のあと
- ⑤人が木の枝を踏んだあと



正解は④番です。これはニホンリスがマツボックリを食べたあとで、変な形のものは通称「森のエビフライ」と呼ばれています。ニホンリスはマツボックリをかじって、かさを剥がしながら間にあるタネを食べます。他にも固いオニグルミの殻の合わせ目を歯で削って隙間をあけ、その隙間に歯を入れてテコの原理で上手に二つに割って中身を食べます。

いつも同じ場所で食事をしているわけではないようですが、散策中、森のエビフライやきれいに割れたオニグルミの殻が落ちていたら周りをよく見てみてください。木の上や根元のあたりをちょろちょろと走っている姿を見ることができますかも知れませんよ。



■ 日本の国立公園 ■

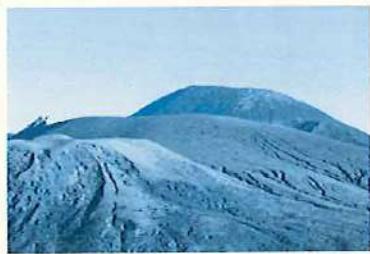
国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 31 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

「霧島錦江湾国立公園」

昭和 29 年 3 月 16 日指定／面積 74,441ha／宮崎県 鹿児島県
高千穂河原ビジターセンター（自然公園財団 高千穂河原支部）
主任 中之薗勝信さんよりご紹介いただきます

昭和 9 年、日本で最初に霧島地域が指定、その後、霧島屋久国立公園で親しまれてきましたが、桜島など生きた火山の魅力や火山活動により形成された風景や生態系が特徴の霧島錦江湾地域が霧島錦江湾国立公園として指定されました。



霧島山(手前から中岳 新燃岳
獅子戸岳 韓国岳

多くの火山が密集した霧島地域の山々は、登山する魅力とミヤマキリシマやノカイドウなどの珍しい植物を見ることができます。

また高千穂峰は、天孫降臨伝説があり、古くから信仰の対象として、地域から親しまれています。錦江湾地域には、今も活発な火山活動を続ける桜島や美しい円錐型の開聞岳などがあり、佐多岬は、アコウ、ソテツなど亜熱帯植物に覆われ南国ムードが漂っている。



高千穂河原から御鉢 高千穂

《高千穂河原ビジターセンター》

高千穂峰などの登山基地として、また、霧島の自然の展示物や高千穂峰の頂上にある「天の逆鉾」のレプリカと壁一面の写真に囲まれたコーナーがあります。まるで頂上にいるような気分になります。シアターコーナーでは、約 15 分程度の霧島の歴史がわかる映像も観ることができます。



高千穂河原ビジターセンター



■ ようこそ！ビジターセンターへ ■

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

講演会「裏磐梯と外来生物問題」を開催しました！

11 月 13 日は、今年最初の大雪となりましたが、福島大学教授黒沢高秀氏と福島大学博士課程首藤光太郎氏をお招きし、外来生物問題について講演していただきました。

近年、磐梯山周辺でも外来生物について問題視されるようになりました。ビジターセンターでも、ウチダザリガニのプログラムやオオハンゴンソウやコカナダモの駆除作戦(9月 18 日)などを展開しています。

どのような問題があり、現状はどうなのか、今、そしてこの先どうすればよいのか、様々な答えと課題が出てきたのではないでしょうか？

外来生物問題はとても難しい問題です。最も重要なのは、その土地の人の力が、とても大きな役割を持つことができるということです。ビジターセンターでは、今後このような問題に講演会や駆除・保護活動などのプログラムを通して積極的に発信していきたいと思いますので、ぜひ、ご参加ください！



↑ 講演会の様子



↑ コカナダモ駆除作戦の様子

お知らせ

※ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧いただけます

裏磐梯周辺の冬期閉鎖道路など

一般自動車道は除雪されますが冬用タイヤや
タイヤチェーンなどが必要です。



磐梯吾妻スカイラインも冬期閉鎖です

 ...冬季閉鎖の道路など



米沢 県道米沢猪苗代線
(旧スカイバレー区間)

冬の裏磐梯は積雪が1メートルを越えます。
探勝路は除雪されませんので、スニーカーなどでの散策はできません。
スノーシューなど、冬の装備を整えてお出かけください。

「裏磐梯だより」について

- ウェブサイトからもご覧いただけます！
年間6回（奇数月）の発行ごとに更新します。
どうぞおたのしみに！
 - 総集編 vol.1～3 販売中!!
※各1冊 1,300円（税込）
裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。
 - 郵送でお届けする定期購読も！
ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、
82円切手6枚（1年間6回の送付分）を同封して
裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。



ビジターセンターの窓から

窓から見える景色は、真っ白になりました。毎年、雪が降ると一旦心が落ち着きます。(わっしー)
しんしんと降る雪、木々は重そうに体を曲げています。今年は半年間もこのまま辛抱?! (くらら)
紅葉が終わったと思ったら、あっという間に雪です。初めて裏磐梯で冬を迎えますが、どんな冬になるのかな? (ろっぴ)
冬の訪れとともにコタツに引きこもりがち…クマさんみたいに冬ごもりしよ~かな… (ひろ)



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

☆夏季(4月~11月) 午前9:00~午後5:00

★冬季(12月~3月) 午前9:00~午後4:00

休館日

每週火曜日、年末年始

(火曜祝日の場合は開館し翌日休館)



入館無料

〒969-2701

福島県耶麻郡北塙原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>